

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒101-8441  
 住 所 東京都千代田区神田錦町1-25  
 氏 名 日清製粉(株)取締役社長 大枝 宏之 印  
 代理人 鶴見工場長 有留 美明  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日清製粉株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区大川町3-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	09	食料品製造業
主たる事業 の内容	小麦粉製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	14,304	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	鶴見工場 製造課
		所在地	川崎市川崎区大川町3-1
		電話番号	044-366-5315
		FAX番号	044-355-7181
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ~ 平成24年度 (報告年度 平成23年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
備考	当社の環境基本方針については、ホームページにて公表しています。 <a href="http://www.nisshin-pet.co.jp/company/environment.html">Http://www.nisshin-pet.co.jp/company/environment.html</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 23,286 t-CO <sub>2</sub> (調) 18,585 t-CO <sub>2</sub>	(実) 23,333 t-CO <sub>2</sub> (調) 18,669 t-CO <sub>2</sub>	(実) 23,995 t-CO <sub>2</sub> (調) 19,201 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub> (調) t-CO <sub>2</sub>	(実) 22,587 t-CO <sub>2</sub> (調) t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) -0.2 % (調) -0.5 %	(実) -3.0 % (調) -3.3 %	(実) % (調) %	(実) 3.0 % (調) %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値		0			
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	生産数量は前年度より約1.6%増加し、トラブルが増加した為に、排出量が増加した。
第2年度	生産数量は前年度より約0.12%増加し、トラブルが増加した為に、排出量が増加した。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小集団活動      ○推進体制</li> <li>○省エネ設備の導入・省エネの発掘</li> <li>○故障削減によるエネルギーロスの排除</li> <li>○不要照明切り、諸設備の空運転排除</li> <li>○空調設備のこまめな温度調節と運用管理</li> <li>○一般・産業廃棄物の再生資源のリサイクルを推進し、資源化を図る。又、減量化を図る。</li> </ul>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備：当事業場内の日清ペットフード(株)、日清サイロ(株)と「環境・CO2リーダー会」を共同開催し、平成22年度も省エネ活動の啓蒙に取り組んだ。</li> <li>○環境に係る設備投資を実施する。(496,590千円⇒老朽化設備等の更新を図ったので、H23年度の故障削減が期待出来る)</li> <li>○照明設備の運用、更新：工場内、事務所内の蛍光灯の一部をHf蛍光灯に更新し、照明増設箇所にはLED照明を採用した。</li> </ul>
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備：当事業場内の日清ペットフード(株)、日清サイロ(株)と「環境・CO2リーダー会」を共同開催し、平成23年度も省エネ活動の啓蒙に取り組んだ。</li> <li>○環境に係る設備投資を実施する。(545,721千円⇒老朽化設備等の更新を図ったので、H24年度の故障削減が期待出来る)</li> <li>○照明設備の運用、更新：工場内、事務所内の蛍光灯の一部をHf蛍光灯に更新し、照明増設箇所にはLED照明を採用した。</li> </ul>
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 廃棄物の減量化・分別化の推進を図る</li><li>2. 取得済みのISO14001の活動の一環として、環境に関する教育を行なう。</li><li>3. グリーン購入の推進を行なう</li><li>4. 運送業者等に対するエコドライブ実施の協力要請</li></ol>
第1年度	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 廃棄物の削減に取り組み、総廃棄物量を前年比13.89%削減した。</li><li>2. 全従業員を対象にした環境研修を実施し、省エネ、廃棄物削減分別の教育を実施した。</li><li>3. 運送会社、荷主に、環境配慮行動要請票を送り、エコ運搬の要請をした。</li></ol>
第2年度	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 廃棄物の削減に取り組み、総廃棄物量を前年度比8.18%削減した。</li><li>2. 全従業員を対象にした環境研修を実施し、省エネ、廃棄物の教育を実施した。</li><li>3. 外部研修(セミナー)などに参加をさせ、知識的レベルアップを図った。</li><li>4. 運送会社、荷主に、環境配慮行動を要請する。</li></ol>
第3年度	

## 6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

## (1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	21,598	t-CO <sub>2</sub>
(調)	21,543	

## (2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
鶴見工場	川崎区大川町3-1	0962	小麦粉製造業	21,598 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

## (3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--